



Cisco Unified Communications Manager の設定

Cisco Unified Communications Manager の設定を使用すると、同じクラスタ内にインストールされた各 Cisco Unified Communications Manager のポートおよびその他のプロパティを指定できます。クラスタは、冗長化機能を有効にした一群の Cisco Unified Communications Manager から構成されます。

Cisco Unified Communications Manager クラスタの最初のノードについては、インストールの過程でサーバが自動的に追加されます。その他の Cisco Unified Communications Manager をクラスタに追加するには、管理者が（[サーバの設定 (Server Configuration)] を使用して）、その Cisco Unified Communications Manager を（[Cisco Unified Communications Manager の設定 (Cisco Unified Communications Manager Configuration)] を使用して）追加する必要があります。この手順を、クラスタ内の Cisco Unified Communications Manager ごとに繰り返します。

Cisco Unified Communications Manager の設定を検索および更新したり、システム コンポーネントのバージョン情報を表示したりするには、次のトピックを参照してください。

- [Cisco Unified Communications Manager の検索 \(P.3-2\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager の更新 \(P.3-4\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager の設定値 \(P.3-5\)](#)
- [Cisco Communications Manager サービスのアクティブ化および非アクティブ化 \(P.3-8\)](#)
- [関連項目 \(P.3-9\)](#)

Cisco Unified Communications Manager の検索

ネットワーク内にはいくつかの Cisco Unified Communications Manager が存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、固有の条件を指定して、特定の Cisco Unified Communications Manager を見つけることができます。Cisco Unified Communications Manager を検索する手順は、次のとおりです。



(注)

ブラウザセッションでの作業中は、検索 / リストの検索設定がクライアント マシンの cookie に保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合や、ブラウザを閉じてから再び新しくブラウザ ウィンドウを開いた場合でも、検索に変更を加えない限り、Cisco Unified Communications Manager の検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [システム] > [Cisco Unified CM] の順に選択します。

[Cisco Unified CM の検索と一覧表示 (Find and List Cisco Unified CMs)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ステップ 3](#)に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.3-9 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager の更新

Cisco Unified Communications Manager を更新する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [システム] > [Cisco Unified CM] の順に選択します。

[Cisco Unified CM の検索と一覧表示 (Find and List Cisco Unified CMs)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Cisco Unified Communications Manager を更新するには、P.3-2 の「[Cisco Unified Communications Manager の検索](#)」の説明に従って、対象となる Cisco Unified Communications Manager を検索します。更新する Cisco Unified Communications Manager をクリックし、[ステップ 3](#)に進みます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します ([表 3-1](#) を参照)。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

追加情報

[P.3-9](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager の設定値

表 3-1 では、Cisco Unified Communications Manager の設定値について説明します。関連する手順については、P.3-9 の「関連項目」を参照してください。

表 3-1 Cisco Unified Communications Manager の設定値



フィールド	説明
[サーバ情報 (Server Information)]	
[CTI ID]	この読み取り専用フィールドには Computer Telephony Integration (CTI) ID が表示されます。
[Cisco Unified CM サーバ (Cisco Unified Communications Manager Server)]	この読み取り専用フィールドには、Cisco Unified Communications Manager がインストールされているサーバが表示されます。
[Cisco Unified CM の名前]	この Cisco Unified Communications Manager に割り当てる名前を入力します。
[説明]	Cisco Unified Communications Manager の説明を入力します。
[自動登録情報 (Auto-registration Information)]	
[開始電話番号 (Starting Directory Number)]	デバイスの自動登録に使用する開始電話番号を入力します。
[終了電話番号 (Ending Directory Number)]	デバイスの自動登録に使用する終了電話番号を入力します。  <p>(注) [開始電話番号 (Starting Directory Number)] フィールドと [終了電話番号 (Ending Directory Number)] フィールドで電話番号の有効な範囲を指定すると、自動登録が自動的に使用可能になります。</p> <p>[開始電話番号 (Starting Directory Number)] と [終了電話番号 (Ending Directory Number)] を同じ値に設定すると、自動登録が使用不可になります。</p>
[パーティション (Partition)]	パーティションを使用しない場合は、<なし>を選択します。 パーティションを使用している場合は、自動登録された電話番号が属するパーティションをドロップダウン リスト ボックスから選択します。  <p>ヒント パーティション、外線電話番号マスク、またはボイス メール ボックス マスクを選択する前に、自動登録用の範囲を選択しておく必要があります。</p> <p>250 より多くのパーティションが存在する場合、ドロップダウン リスト ボックスの横に [検索] ボタンが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> [検索] ボタンをクリックして、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウを表示します。 パーティションの検索条件のフィールドで、検索条件を選択し、パーティション名の一部を入力します。 表示されたパーティションのリストで、指定したいパーティションの横にあるチェックボックスをオンにします。 [選択項目の追加] をクリックします。

表 3-1 Cisco Unified Communications Manager の設定値 (続き)

フィールド	説明
[外線電話番号マスク (External Phone Number Mask)]	<p>自動登録されたデバイスから発信される外部 (発信) コールに対して、発信者 ID 情報をフォーマットするのに使用するマスクを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> このマスクには、最長 50 文字までを指定できます。 発信者 ID 情報に表示する数字列を入力します。自動登録されたデバイスの電話番号を表すには、X を使用します。 <p>次の例を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> マスク 972813XXXX を指定する場合、外部コールを行うのに使用されるルート パターンで [発呼側の外線電話番号マスクを使用 (Use Calling Party's External Phone Number Mask)] オプションがオンになっていれば、内線番号 1234 からの外部コールは、発信者 ID が 9728131234 と表示されます。 代表番号を表すために、9728135000 のようなすべて数字列のマスクを指定する場合は、その番号 (9728135000) が、自動登録された任意のデバイスからの外部コールの発信者 ID として表示されます。
[この Cisco Unified CM では自動登録は無効にする (Auto-registration Disabled on this Cisco Unified Communications Manager)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は、無許可でネットワークへ接続するのを防止する目的で、デフォルトでは自動登録を使用不可にしています。自動登録を使用可能にするか使用不可にするかを選択するには、次のいずれかのオプションを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> この Cisco Unified Communications Manager で自動登録を使用可能にするには、[この Cisco Unified CM では自動登録は無効にする (Auto-registration Disabled on this Cisco Unified Communications Manager)] チェックボックスをオフにします。 この Cisco Unified Communications Manager で自動登録を使用不可にするには、[この Cisco Unified CM では自動登録は無効にする (Auto-registration Disabled on this Cisco Unified Communications Manager)] チェックボックスをオンにします。 <ul style="list-style-type: none"> 自動登録が使用不可の場合は、ネットワークに新しいデバイスを追加するたびに、電話番号を手動で設定する必要があります。 [開始電話番号 (Starting Directory Number)] と [終了電話番号 (Ending Directory Number)] を同じ値に設定しても、自動登録が使用不可になります。 このオプションをオンにして自動登録を使用不可にするときに、開始電話番号と終了電話番号が指定されている場合、Cisco Unified Communications Manager は、開始電話番号と終了電話番号を同じ値に設定します。 <p>Cisco Unified Communications Manager は、自動登録が使用不可になると、パーティションと外部電話マスク情報をリセットします。</p>

表 3-1 Cisco Unified Communications Manager の設定値 (続き)

フィールド	説明
[このサーバでの Cisco Unified CM の TCP ポートの設定 (Cisco Unified Communications Manager TCP Port Settings for This Server)]	
[イーサネット電話ポート (Ethernet Phone Port)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は、ネットワーク上の Cisco Unified IP Phone (SCCP のみ) との通信に、この TCP ポートを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトのポート値 2000 がシステム上ですでに使用中以外の場合は、このデフォルトポートを受け入れてください。2000 を選択すると、このポートはノンセキュアとして識別されます。 すべてのポート入力値は固有のものでなければなりません。 有効なポート番号の範囲は、1024 ~ 49151 です。 セキュリティの設定については、『<i>Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド</i>』を参照してください。
[MGCP リッスンポート (MGCP Listen Port)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は、関連した MGCP ゲートウェイからメッセージを検出する場合に、この TCP ポートを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトのポート番号 2427 がシステム上ですでに使用中以外の場合は、このデフォルトポートを受け入れてください。 すべてのポート入力値は固有のものでなければなりません。 有効なポート番号の範囲は、1024 ~ 49151 です。
[MGCP キープアライブポート (MGCP Keep-alive Port)]	<p>Cisco Unified Communications Manager は、関連する MGCP ゲートウェイとキープアライブメッセージを交換する場合に、この TCP ポートを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> デフォルトのポート番号 2428 がシステム上ですでに使用中以外の場合は、このデフォルトポートを受け入れてください。 すべてのポート入力値は固有のものでなければなりません。 有効なポート番号の範囲は、1024 ~ 49151 です。
[SIP 電話ポート (SIP Phone Port)]	<p>このフィールドには、TCP および UDP による SIP 回線登録をリッスンするために Cisco Unified Communications Manager が使用するポート番号を指定します。</p>
[SIP 電話セキュアポート (SIP Phone Secure Port)]	<p>このフィールドには、TLS による SIP 回線登録をリッスンするために Cisco Unified Communications Manager が使用するポート番号を指定します。</p> <p>セキュリティの設定については、『<i>Cisco Unified Communications Manager セキュリティガイド</i>』を参照してください。</p>

Cisco Communications Manager サービスのアクティブ化および非アクティブ化

Cisco CallManager サービスのアクティブ化および非アクティブ化には、次の要件が適用されます。

- Cisco Communications Manager サービスのアクティブ化 (P.3-8)
- Cisco Communications Manager サービスの非アクティブ化 (P.3-8)

追加情報

P.3-9 の「関連項目」を参照してください。

Cisco Communications Manager サービスのアクティブ化

Cisco Unified Communications Manager の新規インストールを実行する場合は、次の手順に従う必要があります。

1. サーバを追加します。サーバが設定されると、Cisco Unified Communications Manager が自動的に追加されます。
2. 『Cisco Unified Communications Manager Serviceability アドミニストレーションガイド』の説明に従って、Cisco CallManager サービスを有効にします。

この手順に従わない場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.3-9 の「関連項目」を参照してください。

Cisco Communications Manager サービスの非アクティブ化

Cisco CallManager サービスは、Cisco Unified Serviceability ページで非アクティブにすることができます。Cisco CallManager サービスを非アクティブにすると、サービスを非アクティブにした Cisco Unified Communications Manager は非アクティブになり、使用されなくなります。



(注)

[Cisco Unified Serviceability] の [Tools] > [Service Activation] にアクセスすると、Cisco Unified Communications Manager のステータスを表示できます。

Cisco CallManager サービスを非アクティブにした場合、その Cisco Unified Communications Manager 上ではコールを発信できなくなります。

Cisco Unified Communications Manager の管理機能の Web サービスがアクティブになっていて、データベースが起動し、動作している場合は、非アクティブになった Cisco Unified Communications Manager に対して設定操作を実行できます。

Cisco Unified Communications Manager 上でもう一度 Cisco CallManager サービスをアクティブにすると、Cisco Unified Communications Manager が元の設定（サーバ名または IP アドレス）のままで自動的にデータベースに再作成されます。この Cisco Unified Communications Manager がアクティブになります。Cisco CallManager サービスが動作していることを確認するには、[Cisco Unified Serviceability] の [Tools] > [Control Center - Feature Services] にアクセスします。

サービスのアクティブ化の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。

追加情報

P.3-9 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [Cisco Unified Communications Manager の検索 \(P.3-2\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager の更新 \(P.3-4\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager の設定値 \(P.3-5\)](#)
- [Cisco Communications Manager サービスのアクティブ化および非アクティブ化 \(P.3-8\)](#)
- [サーバの設定 \(P.2-1\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager Serviceability アドミニストレーションガイド](#)

